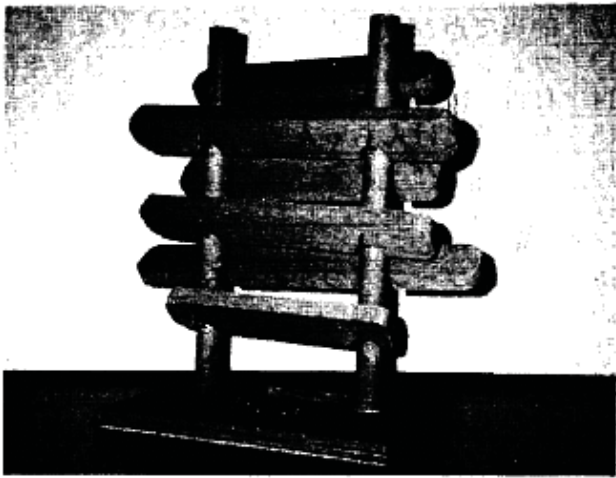


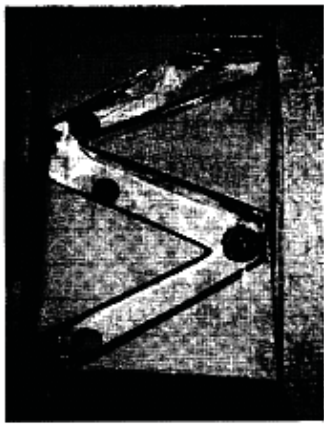
2 特殊教育諸学校自作教材・教具の活用事例


(1) 自作教材・教具一覧

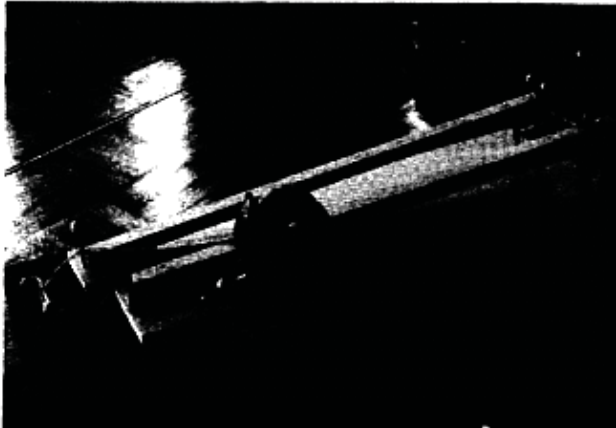
	教 具 名	領域・教科等	所 属	氏 名	ページ
1	ドレミはしご	養護・訓練	土浦養護学校	黒澤 弘道	52
2	コロコロボール	養護・訓練	勝田養護学校	中村 恵子	52
3	まほうのじゅうたん	養護・訓練	北茨城養護学校	片田 和枝	53
4	かたつむり車とところがし台	養護・訓練	結城養護学校	山口 忍	53
5	ひもとおし	養護・訓練	鹿島養護学校	水野 直樹	54
6	布の絵本(けいこさん)	養護・訓練	水戸養護学校	白井 陽子	54
7	ボタンはめ(ジェーン)	養護・訓練	水戸養護学校	白井 陽子	55
8	ペグさし	養護・訓練	友部養護学校	三塚 好文	55
9	色付きさいころ	養護・訓練	友部養護学校	三塚 好文	56
10	型はめ	養護・訓練	友部養護学校	三塚 好文	56
11	ピーピーくじ	養護・訓練	盲 学 校	大森 美代	57
12	的当て遊び(何点とれるかな)	養護・訓練	霞ヶ浦聾学校	根本 典子	57
13	カレンダー	日常生活の指導	水戸養護学校	白井 陽子	58
14	日付, 曜日, 天気調べボード	日常生活の指導	水戸聾学校	杉浦 信也	58
15	お着替えけんちゃん	日常生活の指導	水戸養護学校	伊沢, 田村	59
16	ごみすてバックン	日常生活の指導	水戸養護学校	蓮田, 梅原	59
17	食べやすい器	日常生活の指導	水戸養護学校	大内 一成	60
18	にぎりばし	日常生活の指導	水戸養護学校	梅原 晶	60
19	改良スプーン(つかめーる)	日常生活の指導	水戸養護学校	島山 明	61
20	ベッドでお勉強	日常生活の指導	友部東養護学校	横田 裕	61
21	手首乗せ台(ワープロ名人)	日常生活の指導	水戸養護学校	伊藤 芳昌	62
22	大型紙芝居(チリリンおじさん)	生活単元学習	美浦養護学校	杉山 雅己	62
23	音のでるボーリングピン	生活単元学習	盲 学 校	吉田 健一	63
24	らく顔シート(クラスみんなの顔)	生活単元学習	友部東養護学校	大倉 司	63
25	スライドボード	国 語	鹿島養護学校	水野 直樹	64
26	ひらがな練習機(くるくる)	国 語	鹿島養護学校	水野 直樹	64
27	点字練習機	国 語	盲 学 校	松本 和代	65
28	線・形あそび	国 語	盲 学 校	松本 和代	65
29	ひらがなパズル	国 語	盲 学 校	大森 美代	66
30	数の合成・分解教具	算 数	水戸聾学校	杉浦 信也	66
31	川の流れの模型図	社 会	盲 学 校	菊池 薫	67
32	日本地図パズル	社 会	盲 学 校	菊池 薫	67
33	茨城県の地形図・交通図	社 会	盲 学 校	鈴木 由美子	68
34	怪獣ゴール	体 育	北茨城養護学校	三沢 博樹	68
35	怪獣ボード	体 育	美浦養護学校	櫻井 茂	69
36	ボールボールくまちゃん	体 育	盲 学 校	大森, 中村	69
37	ところがし的あて(ボーリング)	体 育	鹿島養護学校	水野 直樹	70
38	竹太鼓	音 楽	北茨城養護学校	榎田 和子	70
39	テボナストリ	音 楽	水戸養護学校	海老根保博	71
40	音符人形(ドレミちゃん)	音 楽	水戸養護学校	白井 陽子	71
41	のこぎりあてスケール	作 業 学 習	勝田養護学校	大和田, 柴田	72
42	花壇柵組み立て補助具	作 業 学 習	水戸養護学校	小崎 敦	72
43	たたら台	作 業 学 習	協和養護学校	館 淳一郎	73
44	土練機投入補助具	作 業 学 習	水戸飯富養護学校	鯉淵, 渡辺	73
45	うねたて機	作 業 学 習	友部養護学校	細貝 達也	74
46	雑巾縫い機	作 業 学 習	鹿島養護学校	水野 直樹	74
47	足ふきマット編み機	作 業 学 習	水戸聾学校	稲沼 憲子	75
48	マフラー編み機	作 業 学 習	水戸養護学校	梅原 晶	75
49	石鯿切断器	作 業 学 習	協和養護学校	古川 仁	76
50	メモ帳表紙折り機	作 業 学 習	茨大附属養護学校	石川, 牧山	76


(2) 自作教材・教具の活用事例


<p>【作品名】 NO.1 ドレミはしご</p>	<p>【学校名】 茨城県立土浦養護学校 (小学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 養護・訓練</p>	<p>【製作者名】 黒澤 弘道</p>
<p>【製作の意図】 遊びを通して、物をつまむための指の使い方を獲得させる。</p>	<p>【使用の方法】 ビー玉をつまんで上から落とす。 板を組みかえるとビー玉を落としたときの音色が変化する。</p>
<p>【製作上の工夫】 板の長さを変えることでいろいろな音が出るようにする。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 丸棒2本, シナ合板, 洋燈つり, カラーボール, ビー玉, カリン (ブナなどの硬い角材)</p>	

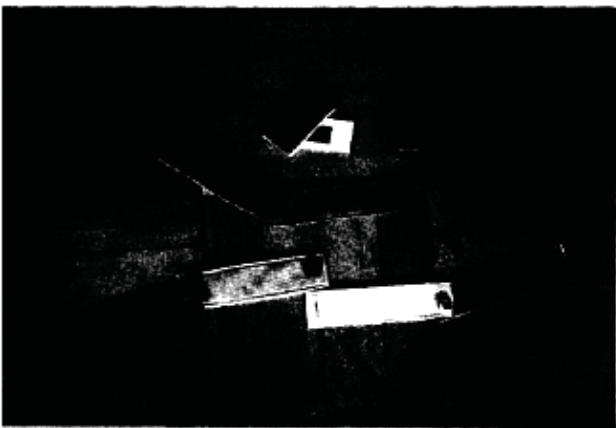
<p>【作品名】 NO.2 コロコロボール</p>	<p>【学校名】 茨城県立勝田養護学校 (訪問部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 養護・訓練</p>	<p>【製作者名】 中村 恵子</p>
<p>【製作の意図】 ボールを握る, 穴に入れるということを楽しませる。 ボールに入れることで, 励ましながら成就感を味わわせる。</p>	<p>【使用の方法】 ボールをつまめる児童生徒には自分から穴に入れさせる。 ボールをつまめない児童生徒には, 視界や視点に注意し介助しながら活動させる。</p>
<p>【製作上の工夫】 傾斜を調節して少しずつ転がり落ちるようにする。 透明なプラスチック板をはりつけることにより, 青や赤のボールが見えるようにして追視できるようにする。 下まで転がったとき, リンリンと鈴がなるようにする。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 ダンボール, カラーボール</p>	

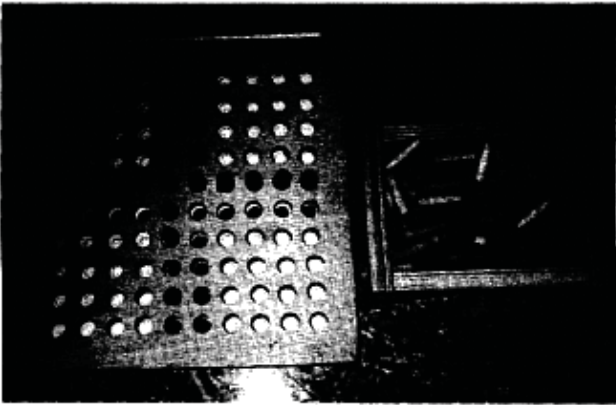
【作品名】 NO.3 まほうのじゅうたん	【学校名】 茨城県立北茨城養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練 生活単元学習	【製作者名】 片田 和枝
【製作の意図】 本教材共有化を通して、役割交代や動への対応を身につけさせる。	【使用の方法】 まほうのじゅうたんの上に、児童生徒やおもちゃを乗せ、片方の端を引いたり、両方の端を持ち上げハンモックのようにしながら揺らしたりする
【製作上の工夫】 児童生徒にデザインさせることにより、興味・関心を高める。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 シーツや子供用毛布あるいは風呂敷 ペイント用塗料, マジック	

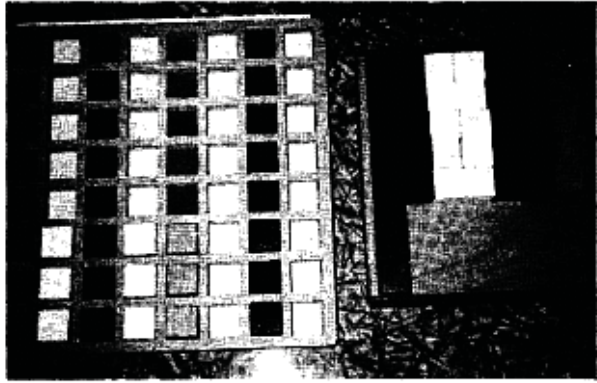
【作品名】 NO.4 かたつむり車ところがし台	【学校名】 茨城県立結城養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練	【製作者名】 山口 忍
【製作の意図】 追視機能の強化, 手先の機能 (押す・ころがす・引く) の強化, 自発的な手の動きを促す。	【使用の方法】 かたつむりの紐を引っ張り, カタカタなる音や動きを楽しむ。 背中の中を取り外し, 台の上に固定し, レバーを押してコロコロころがして遊ぶ。
【製作上の工夫】 児童生徒の興味や意欲を引き出すために, 車の中に木球を入れ, カタカタと音が出るようにする。 台やレバーは, 寝たきりの状態の児童生徒の肩の高さにし, 手を伸ばせば届くようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 桂の板, 角材, 紐, 丸棒, 木球	

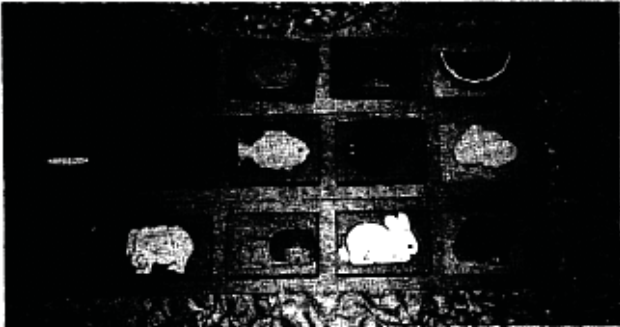
【作品名】 NO.5 ひもとおし	【学校名】 茨城県立鹿島養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練	【製作者名】 水野 直樹
【製作の意図】 両手にわずかに緊張がある児童生徒に、両手を使ってひもとおしをじっくり取り組ませるようにする。	【使用の方法】 一方の手で部品を、もう一方の手で紐をもっ通す。 大きい穴の方から、下がっている木片をつまんで紐を通す。
【製作上の工夫】 紐の先はプラスチックボンドを使って通しやすくする。 通す穴を順に小さくし、難易性をつける。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 厚板, プラスチック, カラー紐, 丸棒 ベニヤ, 角棒	

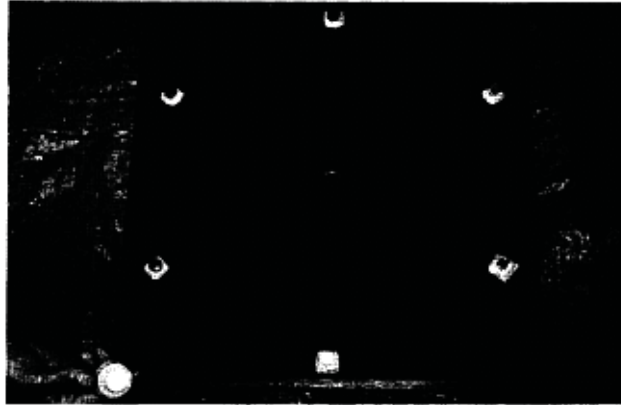
【作品名】 NO.6 布の絵本 (けいこさん)	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練	【製作者名】 白井 陽子
【製作の意図】 手先指先の訓練としてスナップやマジックテープや紐結びを習得させる。	【使用の方法】 話しかけながら、絵本を読んでいるように型合わせやスナップ、マジックテープ、紐結び等を一つ一つ行う。
【製作上の工夫】 スナップの大小や紐の長さの長短を工夫する。 色使いや型合わせ等に工夫を加えながら幅広い訓練や応用のできるものを取り入れる。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 布 (ジーンズの布地等), 紐 (各色) スナップ (大小), 刺しゅう糸 (各色) マジックテープ	

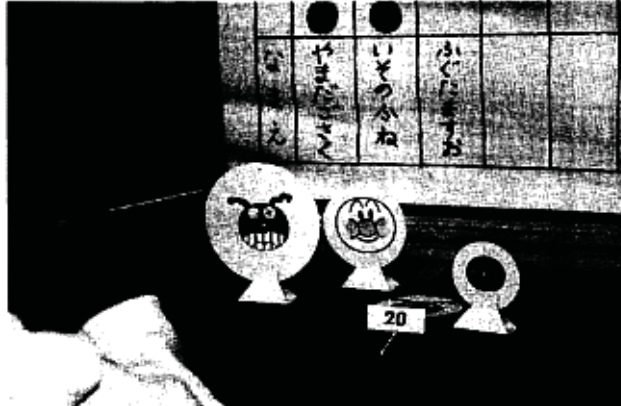
【作品名】 NO.7 ボタンはめ (ジェーン)	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練	【製作者名】 白井 陽子
【製作の意図】 ボタンはめやマジックテープの操作の習得と 感覚機能の向上を図る。	【使用の方法】 型や色で合わせながら、ボタンホールにボタ ンをはめて長くつなげたり、マジックテープを つなげたりの操作を行う。
【製作上の工夫】 大きさの異なったボタンをたくさん使用する ことができるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 布 (フェルト) ボタン マジックテープ	

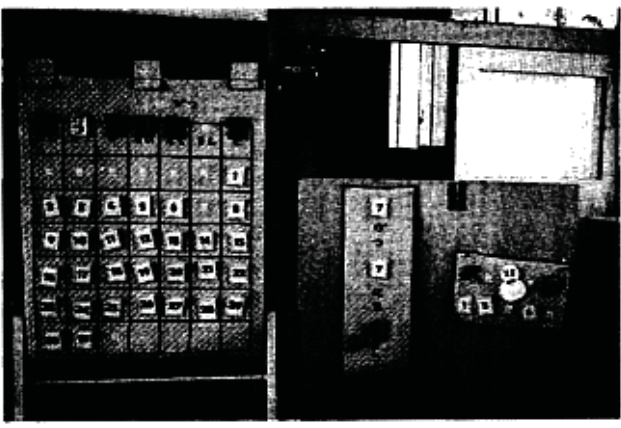
【作品名】 NO.8 ベグさし	【学校名】 茨城県立友部養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練 算数	【製作者名】 三塚 好文
【製作の意図】 空間の認知力を高めるとともに、模写能力を 高めたり、一対一の対応ができるようにする。	【使用の方法】 差し込んだサンプル用紙の赤丸に合わせてベ グをさす。 サンプル用紙を見ながらベグをさす。 右から何番目、上から何番目の所にベグをさ すなどの指示でベグさしを行う。
【製作上の工夫】 サンプル用紙の差し替えを可能にし、一対一 対応を中心的な課題としたり、空間認知を中心 とした課題にするなど、いろいろな課題設定が できるようにした。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 シナベニヤ、ラワン丸棒 (直径12mm)	


【作品名】 NO.9 色付きさいころ	【学校名】 茨城県立友部養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練 算数	【製作者名】 三塚 好文
【製作の意図】 知的障害が重く、形の認知や数の概念などが形成されていない児童生徒に対して、空間認知色の弁別、順序性、一対一の対応等の能力の向上を図る。	【使用の方法】 さいころボード内のサンプル用紙と同じ色のさいころを入れていく。 サンプル用紙を見ながらさいころを入れていく。
【製作上の工夫】 サンプル用紙の差し替えを可能にし、空間認知を中心にしたたり、色の弁別を中心にしたたりするなど課題に応じて設定できるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 シナベニヤ, ラワン材	

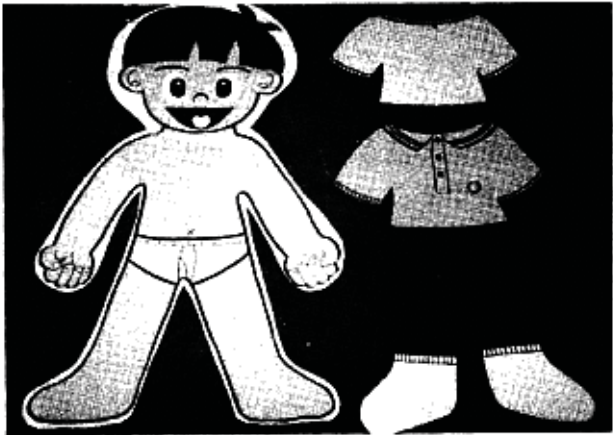
【作品名】 NO.10 型はめ	【学校名】 茨城県立友部養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練 教科指導の基盤	【製作者名】 三塚 好文
【製作の意図】 いろいろな形のものを操作することにより視知覚能力を高める。	【使用の方法】 図と地の関係で枠組みを見て大体の形を把握できるように訓練をする。 果物5刺激から始め、動物シリーズ、魚シリーズと訓練を進めて行く。
【製作上の工夫】 身近な物を題材として児童生徒の興味・関心を促しながら学習を進めることができるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 シナベニヤ, ラワン材	

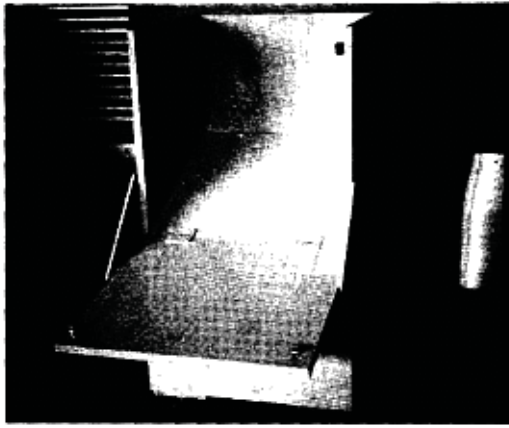
【作品名】 NO.11 ピーピーくじ	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練 特活 遊び クラブ	【製作者名】 大森 美代
【製作の意図】 児童生徒の順番を決めたり、選んだりすることができる。 視聴覚電子キットを利用することにより、ゲーム感覚で児童生徒に興味・関心をもたせることができる。	【使用の方法】 スイッチを入れるとランプが点滅回転し、再度スイッチを押すとしばらくの間回転して停止し、停止位置の違いを音階で知らせる。
【製作上の工夫】 音階の変化で止まる位置が分かるような電子キットにすることで、視覚に障害のある児童生徒でも位置が確認できるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 板材 (ベニヤ), スイッチボタン 電子音キット, 発光ダイオード コード, アクリル板	

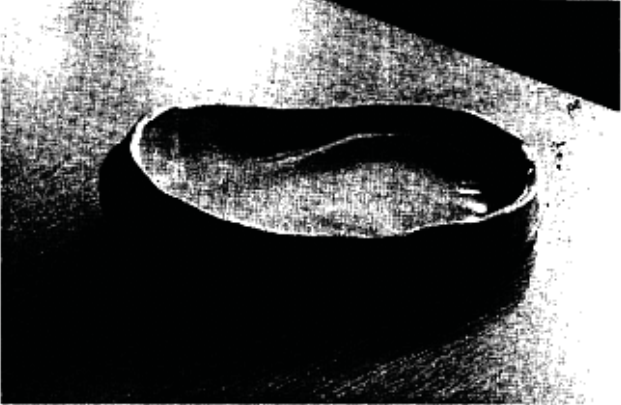
【作品名】 NO.12 的当て遊び(何点とれるかな)	【学校名】 県立霞ヶ浦聾学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 養護・訓練	【製作者名】 根本 典子
【製作の意図】 発音指導で息を出すことが困難な児童生徒に対し、上手に息を吐き出すことができるようにする。	【使用の方法】 ストローの中に綿棒を入れて、ストローを吹くことによって綿棒で的に当て倒す。 的の裏に点数が書いてあり、その点数を数え得点表に記入する。
【作上の工夫】 点数をつけることにより成就感を味わわせる身近なものを使って作成することで、手軽に用いることができるようにした。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ストロー, 画用紙 (的), 綿棒, シール 板目紙 (得点表)	

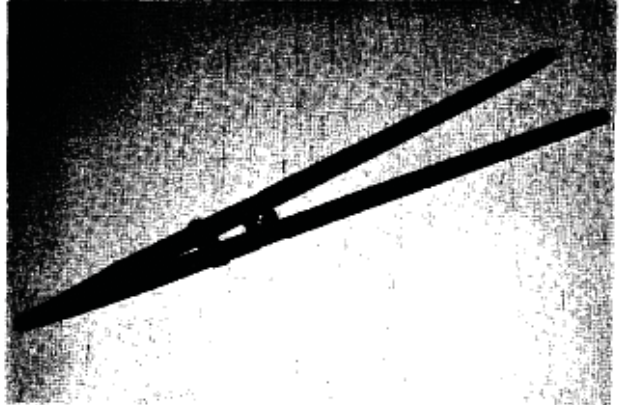
<p>【作品名】 NO.13 カレンダー</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導</p>	<p>【製作者名】 白井 陽子</p>
<p>【製作の意図】 日付、曜日、天気などを意欲的に学習させ、授業への参加意識を育てる。 色や形の弁別ならびに目と手の協応動作を育てる。</p>	<p>【使用の方法】 曜日と日付を外して付けかえるが、生徒の背の高さや車いすなどの高さにあわせた専用ボードを作成するとよい。また、専用ボードにキャスターをつけると移動にも便利である。</p>
<p>【製作上の工夫】 曜日は、文字理解の困難な児童生徒のために色別にする。天気マークは、布の感触を味わわせるために綿を入れて立体的にする。 はがす時の音を楽しめるように、マジックテープを使用する。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 キルティングの布、バイアステープ フェルト、骨組み用角材、文字 数字フェルト、マジックテープ</p>	


<p>【作品名】 NO.14 日付・曜日・天気調べボード</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸聾学校 (小学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 日常生活 生活単元学習</p>	<p>【製作者名】 杉浦 信也</p>
<p>【製作の意図】 日付、曜日、天気などをボードにはる活動を通して意欲的に学習させ、楽しく授業へ参加できるようにする。 フックやマジックテープの脱着を身に付けさせ、目と手の協応動作を図る。</p>	<p>【使用の方法】 朝の会で、ボードのポケットにしまっている日付や曜日などのカードから、その日のカードを捜し出して所定の位置にはり、それを読む。</p>
<p>【製作上の工夫】 柔らかい雰囲気になるような形にするし、また、長期使用に耐えられるようにカードをしまっておく部分を強固にする。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 シナベニヤ、アクリル板、厚紙 マジックテープ、フック (数種類)</p>	

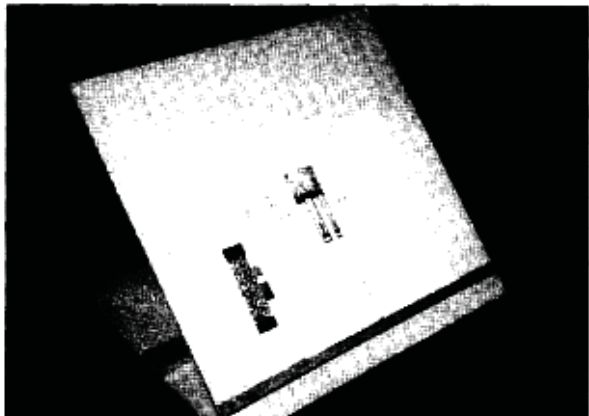
<p>【作品名】 NO.15 お着替えけんちゃん</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (小学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導 養護・訓練</p>	<p>【製作者名】 伊沢 のぞみ (ほか田村 拓也, 菊池 恵)</p>
<p>【製作の意図】 モデルを使うことにより衣服の着脱を意欲的に取り組ませ、視覚によって課題を理解できるようにする。</p>	<p>【使用の方法】 人形の服を提示し、人形自身が話しているように、その時間の課題を説明する。 課題ができたなら掲示した人形の所に行き、指導者からシールをもらって表にはる。</p>
<p>【製作上の工夫】 等身大の親しみやすいキャラクターにする。人形の服を児童生徒が扱いやすいように、ボール紙の縁をガムテープで補強する。 課題達成時のシールを入れておけるように人形にポケットをつける。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 ダンボール紙, 布ガムテープ, 絵の具色画用紙, マジックテープ</p>	


<p>【作品名】 NO.16 ごみすてパッケン</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (中学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導</p>	<p>【製作者名】 蓮田 茂 (ほか梅原 晶)</p>
<p>【製作の意図】 肢体に重い障害のある児童生徒でも、車椅子で一人で清掃活動 (ごみ捨て) に参加できるようにする。</p>	<p>【製作の意図】 車椅子の背もたれやブレーキレバーにくくりつけてごみ捨てを行う。</p>
<p>【製作上の工夫】 ワンタッチで蓋が開くようにすると同時に底部の傾斜によりごみが完全に出るようにする。 ごみ箱の底に自在に動くキャスターを付けることにより、車椅子の動きにごみ箱がついて行けるようにする。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 キャスター4個, ラワン材, 蝶番釘, 木ネジ, ナイロンの紐 (牽引用)</p>	


【作品名】 NO.17 食べやすい器	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導 養護・訓練	【製作者名】 大内 一成
【製作の意図】 肢体 (特に手指) に緊張や震えのある児童生徒が、食事の際にスプーンで容易に摂食ができるようにし、食事への意欲と自立を図る。	【使用の方法】 皿のまわりのくぼんだ部分を使ってスプーンに食物をのせる。また、手腕の力が入りすぎる生徒には、下にぬれぶきんなどを置いてすべりにくくする方法もある。
【製作上の工夫】 皿が動かないように、重量のある焼き物の容器にする。 食べ物をすくう時に食べ物が反転し、スプーンの上に載りやすくするために、容器の片方に傾斜をつける。 えぐれ部分の高さと形を児童生徒の実態に合わせて工夫する。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 焼き物用粘土	

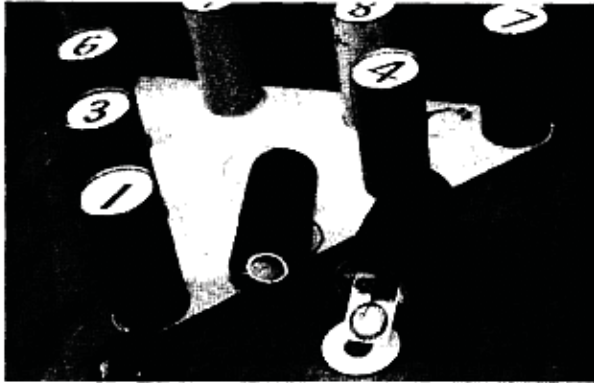
【作品名】 NO.18 にぎりばし	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導	【製作者名】 梅原 晶
【製作の意図】 肢体 (特に手指) に障害があり、うまくはしが使用できない児童生徒が、自力で食べ物を挟むことで食事への意欲と自立を図る。	【使用の方法】 給食のとき、補助具として使用する。 にぎる部位を変えることにより生徒の握力に合わせてたり、輪ゴムの本数で調節する。また、衛生面を考え、とりはずして洗う必要がある。
【製作上の工夫】 衛生面から支点となる部分が簡単に脱着ができるようにし、さらに、支点受けの上下でつまむ部分の開閉距離が自在に変えることができるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 支点受け (プラスチック), 輪ゴム	

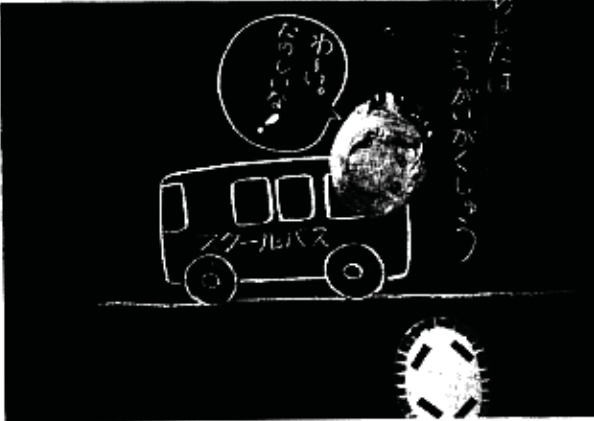
<p>【作品名】 NO.19 改良スプーン (つかめーる)</p> <p>【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (小学部)</p> <p>【製作者名】 高山 明</p>
<p>【製作の意図】 肢体(特に手指)に障害があり、普通のスプーンが持てない児童生徒が、自力で食べ物をすくい摂食できるようにし、食事への意欲と自立を図る。</p>	<p>【使用の方法】 給食のとき、補助具として使用する。 児童生徒の手指や手首の可動域にあわせて、にぎりの部分の形を様々に変えて使用方法がある。</p>
<p>【製作上の工夫】 握りを太くすることで持ちやすくする。児童生徒の手の大きさにあわせて削り調節する。 衛生面を考慮し耐水ペイントで握りを仕上げる。</p> <p>【材料・材質・部品等】 スプーン, 角材 (握り), 紙やすり 接着剤, 耐水ペイント</p>	<p>【写真】</p> 


<p>【作品名】 NO.20 ベットでお勉強</p> <p>【製作の意図】 日常生活の指導</p>	<p>【学校名】 茨城県立友部東養護学校 (小学部)</p> <p>【製作者名】 横田 裕</p>
<p>【製作の意図】 ベット学習を行う児童生徒の学習の効率化を図る。</p>	<p>【使用の方法】 ベット学習を行う児童生徒の学習の効率化をベットの上にセットし、角度を調節して使用する。なお、かけぶとん等の上に乗せて使用するだけでなく、ベットを利用して取り付ける工夫や譜面台のように足部をつけるなどの方法もある。</p>
<p>【製作上の工夫】 体調に応じて使いやすい角度に自在に変えられる。 ノートや本が落ちないように、幅広ゴムバンドや紙はさみを使用する。</p> <p>【材料・材質・部品等】 合板, 角材, 蝶番 2 個</p>	<p>【写真】</p> 

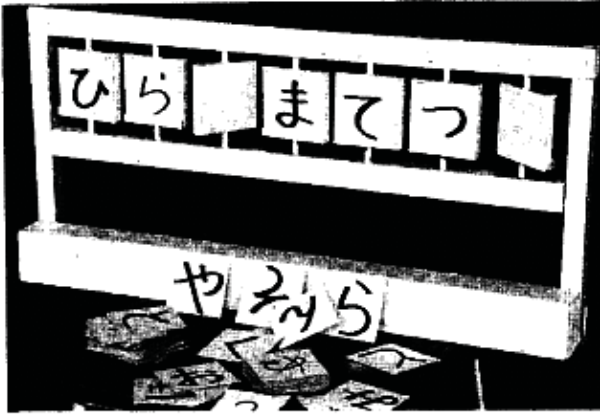
【作品名】 NO.21 手首乗せ台 (ワープロ名人)	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 日常生活の指導 国語	【製作者名】 伊藤 芳昌
【製作の意図】 上肢に障害のある (特に筋ジストロフィー) 児童生徒にワープロの操作をさせるとき、手首を楽に移動できるようにする。	【使用の方法】 手首を乗せて、手首乗せ台を左右に動かして操作を行う。 生徒の手首の状態や手腕の力により、台の高さ、台の厚さ、台の材質を変えて使用する方法もある。
【製作上の工夫】 腕を乗せ自由に動かせるように、キャスターを取り付ける。 ワープロの高さと補助具との高さを児童生徒にあわせる。 児童生徒の障害の程度によって、下にレールを設置できるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 板材, キャスター4個, 木ネジ キャスター用レール	

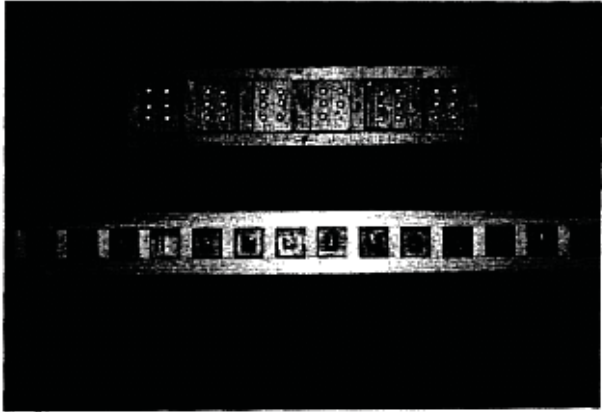
【作品名】 NO.22 大型紙芝居(チリリンおじさん)	【学校名】 茨城県立美浦養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 生活単元学習 国語 算数・数学	【製作者名】 杉山 雅己 (ほか低学年担当職員10名)
【製作の意図】 簡単な物語や話に注視させ、楽しみながら活動に参加できるようにする。	【使用の方法】 紙芝居とキャスターが分離でき、移動紙芝居として利用する。また、もの当てゲームとしても使用できる。
【製作上の工夫】 みんなで紙芝居を楽しむために、枠を大型(900㊸×1800㊸×12㊸)にする 放送機器や紙芝居に必要な物品の運搬を容易にするためにキャスターをつける。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ4枚, たる木, 紙芝居, 釘 水性ペイント (黒), カーテン布 キャスター (直径70mm) ×4個 マジックテープ, ボルトナット16本	

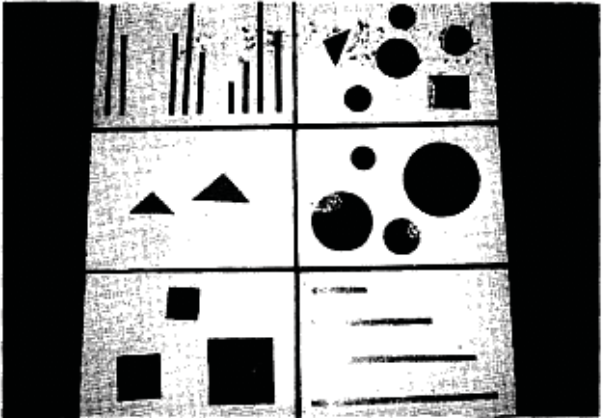
【作品名】 NO.23 音のでるボーリングピン	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 生活単元学習	【製作者名】 吉田 健一
【製作の意図】 視覚に障害のある児童生徒のゲーム等への参加意識を高める。	【使用の方法】 ピンを倒すことによって、ピンの底部に差し込んだ光で反応する電子キットが反応し倒れたことを音楽で児童生徒が知り、倒れたピンの数を数える。
【製作上の工夫】 光の明暗で反応する電子キットを、メロディーXマスカードやバースデーカードを再利用することにより安価にできる。 ころがしたり投げつけたりするボールの材質によって、ピンの形状を自由に変えることができる。	写真] 
【材料・材質・部品等】 メロディーカード、セロテープ スチール缶、画用紙 (底部はりつけ用)、脱脂綿 (電子キットの衝撃吸収のためにスチール缶内につめる。)	


【作品名】 NO.24 らく顔シート	【学校名】 茨城県立友部東養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 生活単元学習	【製作者名】 大倉 司
【製作の意図】 児童生徒の視覚に訴え、注目して話が聴けるようにし、楽しく児童生徒の表情の変化を理解させる。	【使用の方法】 活動計画や事後反省の時間に黒板にはって使用し、身体や場面を黒板に書き加えて指導する。
【製作上の工夫】 透明カッティングシートでコーティングすることにより、クレヨンで口や目や眉毛を書き込んだり、消したりして簡単に表情がつけられるようにする。	写真] 
【材料・材質・部品等】 厚紙 (ボール紙)、マグネットシート 児童生徒の似顔絵あるいは顔写真 カッティングシート (透明)、クレヨン	


【作品名】 NO.25 スライドボード	【学校名】 茨城県立鹿島養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 国語 養護・訓練	【製作者名】 水野 直樹
【製作の意図】 ひらがなの単語の一部をスライドできる板によって隠し、文字を予想するなどひらがなを集中して読む活動ができるようにする。	【使用の方法】 スライド板を動かしながら隠れた文字を探したり、全部の文字を見つけ出す。また、児童同志、教師によるスライドなど、変化をつけることにより楽しく学習する。
【製作上の工夫】 一部の文字が隠れるようにすることで、その文字に集中できるように、スライド式にする。 遊び感覚で取り組めるように、児童生徒自身で自在に操作できるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ、文字カード、角材 色つきアクリル板	

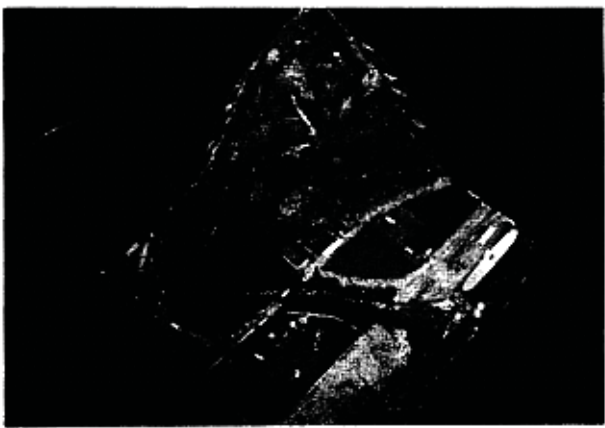
【作品名】 NO.26 ひらがな練習器 (くるくる)	【学校名】 茨城県立鹿島養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 国語	【製作者名】 水野 直樹
【製作の意図】 隠れている文字を連想することで、課題に集中させ、ひらがな読みを習得させる。 楽しく授業に参加させ、言葉の発達を促す。	【使用の方法】 ボードを最初に全部裏返しにして、一枚ずつひっくり返し、隠れている文字を連想し文字の練習やことばの練習を行う。
【製作上の工夫】 児童生徒に親しみやすいようにテレビのクイズ番組風の回転式ボードにする。 写真や絵などのカードにすることで、数などの他の学習にも利用できるように、パネル板にカードが差し込めるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ、釘、接着剤、ペイント たる木 (骨組み)、棒材 (パネル回転軸) カードはめ込み用ケース (透明)	


<p>【作品名】 NO.27 点字練習器</p> <p>【活用できる領域・教科等】 国語 養護・訓練</p>	<p>【学校名】 茨城県立盲学校早期 (教育部)</p> <p>【製作者名】 松本 和代</p>
<p>【製作の意図】 全盲の児童生徒に対して、文字への関心を高め、初歩的な点字の弁別や触読ができるようにする。</p>	<p>【使用の方法】 枠に入れた点字文字を触察で読み取る。 大きさを定めることによって児童生徒の実態にする。</p>
<p>【製作上の工夫】 積み木に点字をはりつけ枠の中に入れて読むことで楽しく点字の学習ができるようにする。 積み木一つ一つをつまんで自由に差し替えられるように、枠と積み木の高さを配慮する。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 ダイモテープ (点字用), 積み木, 板材 釘, 接着剤</p>	

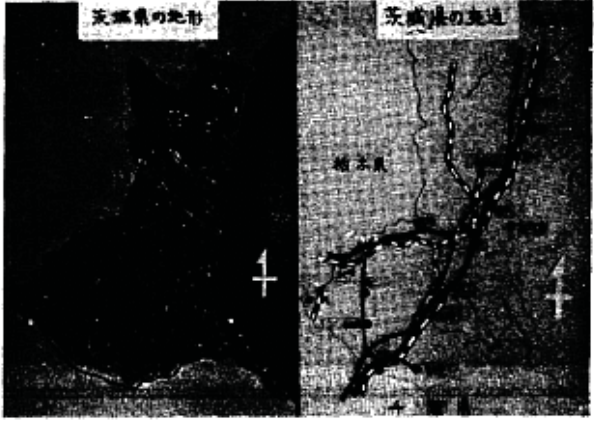
<p>【作品名】 NO.28 線・形あそび</p> <p>【活用できる領域・教科等】 国語 養護・訓練</p>	<p>【学校名】 茨城県立盲学校 (早期教育部)</p> <p>【製作者名】 松本 和代</p>
<p>【製作の意図】 全盲の児童生徒の触察能力を向上させ、丸三角・四角等の形状の理解を図る。</p>	<p>【使用の方法】 線や形を指先でたどり、言葉で表現したり数をかぞえたりの触察活動を行う。</p>
<p>【製作上の工夫】 触ると輪郭がはっきり分かるように、白ボール紙に厚紙を張りつける。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 厚紙 (菓子箱), 凧糸, ボール紙</p>	


【作品名】 NO.29 ひらがなパズル	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 国語	【製作者名】 大森 美代
【製作の意図】 【使用の方法】 全盲の児童生徒が墨字に関心を持ち、ひらがなの形状を理解できるようにする。	【使用の方法】 触察してひらがなをパズルのようにはめ込み文字を読んだり組み合わせて言葉にする。あ行だけを中心に学習する方法や、五十音全部の中からひとつのひらがなを探し出すなど、実態に合わせて学習する方法がある。
【製作上の工夫】 市販の表札用の立体文字を用い、パズルのようにはめ込んで、遊びながら学べるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ひらがなと数字の文字, 菓子箱	

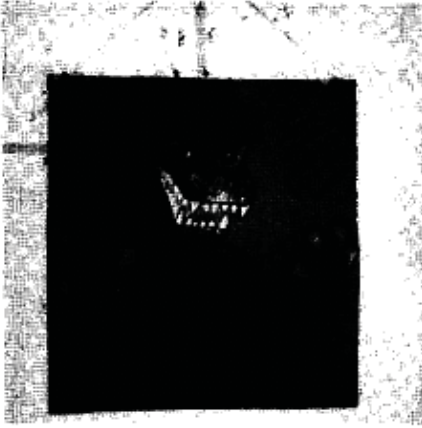
【作品名】 NO.30 数の合成・分解教具	【学校名】 茨城県立水戸聾学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 算数 数学	【製作者名】 杉浦 信也
【製作の意図】 具体物の操作を通して数の合成分解を理解させる。	【使用の方法】 学習する数のブロックをセットする。 木枠内の数えブロックを数え、左右にスライドする操作を行う。
【製作上の工夫】 児童生徒が扱いやすいように大きさや重さ手触り等に工夫し、壊れにくいようにする。 ブロックを、動かしやすいように表面の角を丸め、裏表が使えるように色を塗り分ける。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 シナベニヤ (木枠用), 蝶番, 塗料 角材 (数えブロック用)	


【作品名】 NO.31 川の流れの模型図	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 理科 社会	【製作者名】 菊池 薫
【製作の意図】 視覚に障害がある児童生徒に、川の流れとその働きを触察により理解させる。	【使用の方法】 川底に砂を置き、上流にホースをセットして水を流し、川のできる様子や水の力による土砂の積もり方を、触って確かめ観察する。
【製作上の工夫】 川の流れが分かるように防水加工し、実際に水が流れるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 板材 (枠), 石膏, 発泡スチロール ニス, 紙粘土, パウダー, 接着剤 砂, 家の模型	


【作品名】 NO.32 日本地図パズル	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 社会 算数 数学	【製作者名】 菊池 薫
【製作の意図】 ゲームを通しながら視覚に障害のある児童生徒に、面積の概念を意識させ、面積を比較し理解させる。	【使用の方法】 都道府県を1つずつ出し合い、出された都道府県を触察しあいながらゲーム形式で、じゃんけんをして取り合う。
【製作上の工夫】 触察して比較しやすいように、単純な形に都道府県を作製して色分けする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 プラ板 (1 mm), 点字シート (都道府県名用)	


【作品名】 NO.33 茨城県の地形図・交通図	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 社会	【製作者名】 鈴木 由美子
【製作の意図】 全盲の児童生徒に触察させ、地形や交通の関係を具体的に理解させる。	【使用の方法】 触察し、地形の変化や位置を理解する。
【製作上の工夫】 土地の高低、鉄道の線路の走り方等の違いを触察で明確にさせるために、材質を変えたり立体的にする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ板, 毛糸, ボンド, ボール紙 紙粘土, ニス, 針金, 絵の具 マジックテープ, シール, 点字シート	

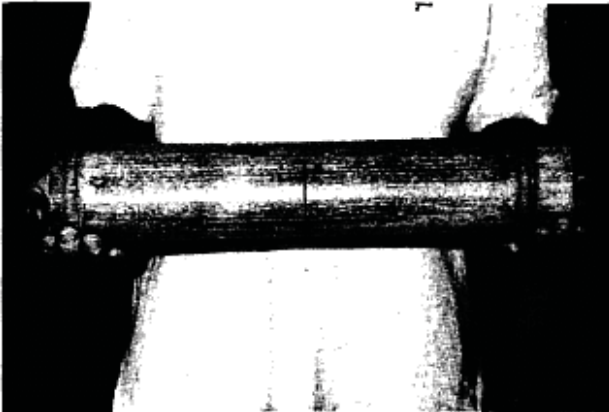
【作品名】 NO.34 怪獣ゴール	【学校名】 茨城県立北茨城養護学校(小学部)
【活用できる領域・教科等】 体育 生活単元学習	【製作者名】 三沢 博樹
【製作の意図】 音響キットの使用で児童生徒の興味や関心を引き出させる。 投げる、蹴る等の能力を身に付けさせる。	【使用の方法】 児童生徒が怪獣の絵の書いてあるボードにボールを当てると「ガオー」と鳴き声が聞こえる。 ボードの形状を変えて発展させることもできる。
【製作上の工夫】 音量を大きくするために、電子キットスピーカーの中に組み込み、ACアダプターで作動するようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 電子工作キット-電子鳴き声シリーズ 怪獣(ワンダーキット社) スピーカー, ACアダプター, 合板 角材, ネオカラー, ニス	


【作品名】 NO.35 怪獣ボード	【学校名】 茨城県立美浦養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 体育 生活単元学習, 遊び学習	【製作者】 櫻井 茂
【製作の意図】 音響キットの使用で児童生徒の興味や関心を引き出させる。ボードに触れて、ターンして返ってくるリレーゲームなどにも、応用できる。 児童に走る、投げる、跳躍などの方向や位置を知らせ、楽しく運動できるようにした。	【使用の方法】 児童生徒が怪獣の絵の書いてあるボードに触れれば、「ガオー」と鳴き声が聞こえる。感度や音の調整ができるようにしたので、ボールをげる、飛び上がって触れる、など児童の活動に合わせて使用できる。
【製作上の工夫】 音量を大きくするために、電子キットスピーカーの中に組み込み、ACアダプターで作動するようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 電子工作キット-電子鳴き声シリーズ 怪獣(ワンダーキット社) 合板, スイッチ用スポンジ, 金具 ネオカラー, ニス	


【作品名】 NO.36 ボールボールくまちゃん	【学校名】 茨城県立盲学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 体育 特別活動	【製作者名】 大森 美代 (ほか中村 隆史)
【製作の意図】 視覚障害のある児童生徒に対して、聴覚による検索能力を高めるとともにゲームを通じて、集団参加能力、投げる、蹴るなどの運動能力を高める。	【使用の方法】 児童生徒の実態にあわせて離れたところからボールを投げ(蹴り)、的にあてる。
【製作上の工夫】 塩ビパイプで骨組みを作ることによって壊れにくいようにした。 工作キットにより、衝撃によって音が出るようにした。 熊の中心をくりぬき、的をはっきりさせた。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 電子工作キット (ゴジラキット) 板材, 塩ビパイプ (骨組み用), 金具 ネジ, アンブ, ボックス, 導線 発泡スチロール板, スポンジ(スイッチ)	


【作品名】NO.37 ころがしのあて(ボーリング)	【学校名】 茨城県立鹿島養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 体育 養護・訓練	【製作者名】 水野 直樹
【製作の意図】 音響キットの使用により児童生徒の興味や関心を引き出す。 投げることへの前段指導として、転がす等の能力を習得させる。	【使用の方法】 児童生徒の能力に合わせてボールを転がす位置を決めて、ボーリングゲームの要領で使用する。
【製作上の工夫】 ボールが当たると音(光)と絵柄が変化するように、ブザーや電子キットを使用する。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 たる木(骨組み), カセットデッキ ベニヤ, ペイント, 電子キット(メロディー・光)あるいは, ブザーなど	

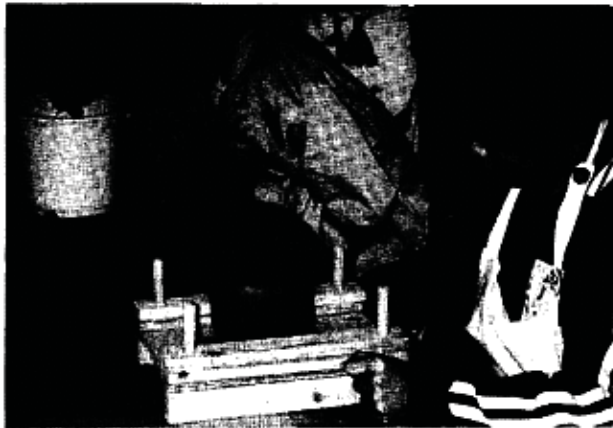
【作品名】NO.38 竹太鼓	【学校名】 茨城県立北茨城養護学校(小学部)
【活用できる領域・教科等】 音楽 生活単元学習	【製作者名】 榎田 和子
【製作の意図】 身体全体を動かして打つ興味をもたせ、意欲的に取り組ませる。	【使用の方法】 両手を使って、大きな動作を伴って打てる広い空間に設置する。 1台3～4人に人数分けする。
【製作上の工夫】 音の響きをよくするため、支柱と竹太鼓の接触部分を少なくし、竹のばちを使用する。児童生徒が大好きな太鼓を、身近な素材でしかも全員でたたけるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ板, 竹(孟宗竹 真竹), 角材 竹ばち, ペイント, 釘	

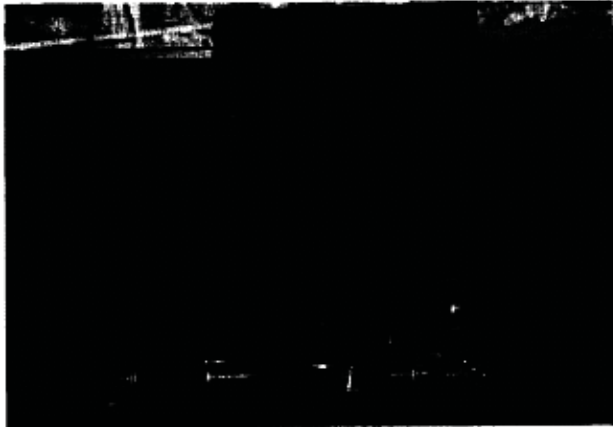
<p>【作品名】 NO.39 テボナストリ</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (小学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 音楽 養護・訓練</p>	<p>【製作者名】 海老根 保博</p>
<p>【製作の意図】 上肢に障害のある児童生徒でも気軽に音が出せ、授業への参加意識を高める。</p>	<p>【使用の方法】 竹のばちで叩いて木魚のような音色を出す。叩く回数やリズムの取り方、合奏の場合のパートの人数により、さまざまな方法がある。</p>
<p>【製作上の工夫】 H字型のスリットをつける。 太さの異なる竹ばちを使用して、実態に合わせた姿勢でたたかせる。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 竹, 竹ばち</p>	


<p>【作品名】 NO.40 音符人形 (ドレミちゃん)</p>	<p>【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (小学部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 音楽 生活単元学習</p>	<p>【製作者名】 白井 陽子</p>
<p>【製作の意図】 声の出せない児童生徒に対して、授業に楽しく参加できるようにする。 楽しみながら歌を歌わせ、音楽に興味をもたせる。</p>	<p>【使用の方法】 歌に合わせて音階ごとに軍足で作ったへびの人形を黒い布の穴から出し入れして、見て楽しませたり歌って遊ばせる。</p>
<p>【製作上の工夫】 軍足で手軽にへび (音符人形) が作れる。 音階ごとに登場するへび (音符人形) を色彩豊かにすることで特徴をつける。 車椅子の児童生徒が、自発的に操作できるように高さや大きさを考慮する。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 黒地の布, 芯用ベルト, 染色用カラーカラー軍足 (各色), 厚紙, フェルト (へびの顔)</p>	

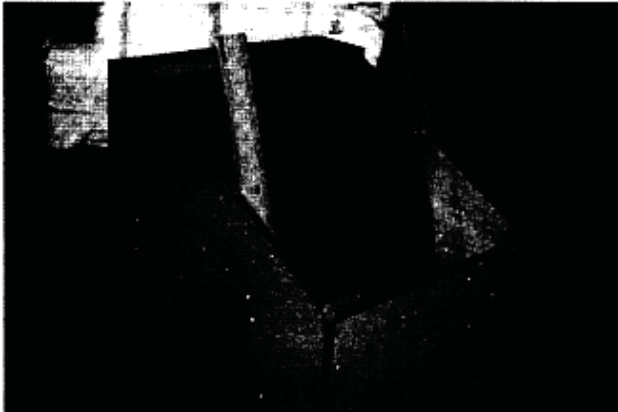
【作品名】 NO.41 のこぎりあてスケール	【学校名】 茨城県立勝田養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 職業・家庭 生活単元学習	【製作者名】 大和田 猛 (ほか柴田 真貴子)
【製作の意図】 のこぎりを木材に垂直に立てて、直線びきができるようにする。	【使用の方法】 切断するけがき線にあててスケールを締め、金具で固定し、のこぎりをひく。
【製作上の工夫】 のこぎりを固定するためスケールにある程度の重量をもたせ、のこぎりをひく側の握りの部分を削ることにより、のこぎりのつばが当たらないようにする。 磁石プレートをはめ込むことでスケールとのこぎりが離れないようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 コンパネ, 釘, マグネットシート 木工用ボンド, ネオカラー	

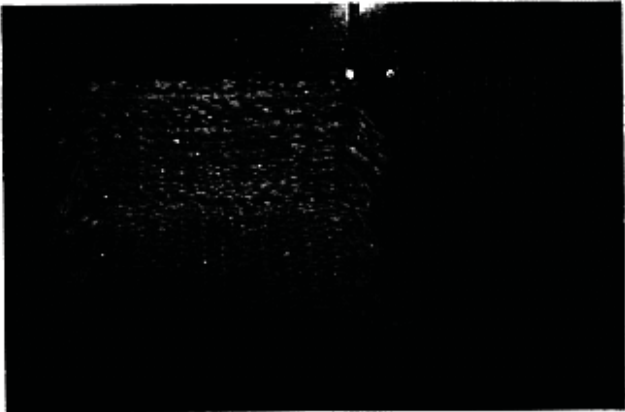
【作品名】 NO.42 花壇柵組立補助具	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 (木工) 職業・家庭	【製作者名】 小崎 敦
【製作の意図】 同一規格、品質の製品を製作することができる。 児童生徒自身で取り組める行程を増やすことによって作業意欲を高める。	【使用の方法】 材料を所定の位置にはめ込み、釘を打って組み立て、釘の位置が決められない児童生徒は、釘打ち決め補助具で目印をつけて釘を打つ。
【製作上の工夫】 組み立て補助具と釘位置決め補助具を合わせて用いることで、生徒がより効率的に同一規格の製品を製作できるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 板材 (廃材等も利用), 釘	

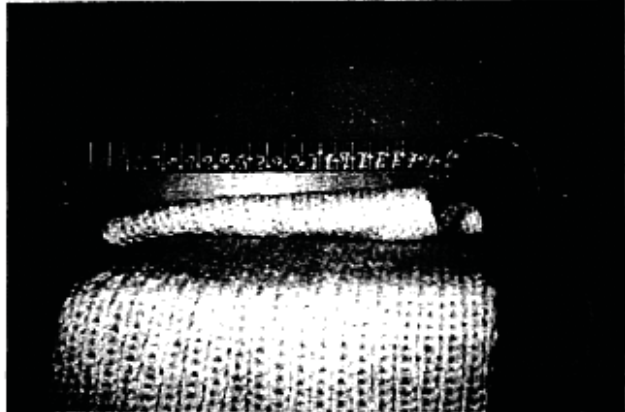
【作品名】 NO.43 たたら台	【学校名】 茨城県立協和養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 美術 図工 作業学習 (窯業)	【製作者名】 館 淳一郎
【製作の意図】 粘土板を作るとき、たたら板で切り糸を平行に引くのは難しいので「台」を設置することにより、手の動きを補い平行に切れるようにする。 さらに、たたら作りの作業の効率化を図る。	【使用の方法】 切り糸のたるみをなくし、張った状態で糸を引く。
【製作上の工夫】 平行に手を動かすことが難しい児童生徒でも平行に粘土が切れるように、板で簡単に位置を決めることができる。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ラワン材, ベニヤ, バルサ材, 丸材	

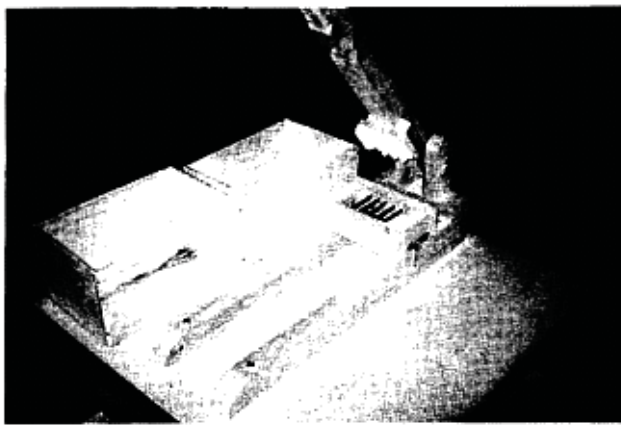
【作品名】 NO.44 土練機投入補助具	【学校名】 茨城県立水戸飯富養護学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 (窯業) 図工 美術	【製作者名】 鯉淵 勲 (ほか渡辺 鈴子)
【製作の意図】 土練機にこの補助具を装着することにより入口が高い位置になり、土練機の操作を安全に行わせる。	【使用の方法】 土練機投入口のサイズに本補助具を装着し、児童生徒が粘土をちぎって投入する。
【製作上の工夫】 【写真】 タイヤチューブを輪切りにしたものを土練機との接点に巻き、滑り止めにする。 土練機の投入口が小さいので投げ入れやすいように口が大きくなるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 コンパネ, ゴム	


【作品名】 NO.45 うねたて機	【学校名】 茨城県立友部養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 (農業)	【製作者名】 細貝 達也
【製作の意図】 農作業でうまく畝立てができない生徒に、畝のイメージをとらえさせ、作業時に畝を能率良く作成させる。	【使用の方法】 畝を作る方向に畝箱を置き、土を入れ、土入終了後に、畝箱を取ると畝ができあがる。
【製作上の工夫】 作業する時は、手軽に持ち運びができるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ板, 角材	

【作品名】 NO.46 簡易雑巾縫い機	【学校名】 茨城県立鹿島養護学校 (小学部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 職業・家庭 養護・訓練	【製作者名】 水野 直樹
【製作の意図】 手軽に雑巾縫いができるようにする。	【使用の方法】 透明アクリル板2枚の間に布を入れ、中央10mm幅の溝に針を刺し、板を半回転させ針をぬき、間隔をとってまた上から針を刺し、板を半回転させる動作を繰り返して縫っていく。
【製作上の工夫】 いつも上から針を刺して作業ができるようにする。 板がクルクル回らないように丸棒を利用する 透明アクリル板で全体の進行状況が見えるようにする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 ベニヤ, アクリル板, 丸棒	

【作品名】 NO.47 足ふきマット編み機	【学校名】 茨城県立水戸聾学校 (高等部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 職業・家庭 美術 数学	【製作者名】 稲沼 憲子
【製作の意図】 単純な操作の繰り返しにより、見通しをもった活動ができ、障害の重い児童生徒が自力で作業を行えるようにする。	【使用の方法】 細く裂いた布をビニールロープに交互に通していく。通し終えたらビニールロープを釘からはずし、ビニールロープを端から引きしめ固定する。
【製作上の工夫】 児童生徒の実態に合わせてビニールロープの間隔を変えることができるようにし、また、交互に通しやすいようにビニールロープを色分けする。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 角材, ボルト, ビニールロープ, 釘, 古布	

【作品名】 NO.48 マフラー編み機	【学校名】 茨城県立水戸養護学校 (中学部)
【活用できる領域・教科等】 作業学習 職業・家庭 養護・訓練	【製作者名】 梅原 晶
【製作の意図】 棒針を持たない片まひの児童生徒でも簡単に編み物ができるようにする。	【使用の方法】 釘に交互に糸をわたし、下の糸を引っ張って釘の向こう側におろす動作を繰り返す。
【製作上の工夫】 編み機が動かないように、児童生徒の障害に合わせて編み機の大きさを工夫する。 毛糸をつまみやすいように釘にビニールチューブを通す。	【写真】 
【材料・材質・部品等】 板材, ビニールチューブ, 釘	

<p>【作品名】 NO.49 石鯨切断機</p>	<p>【校名】 茨城県立協和養護学校 (高等部)</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 作業学習 職業・家庭</p>	<p>【製作者名】 古川 仁</p>
<p>【製作の意図】 包丁などの刃物を使用できない児童生徒に簡単な操作で安全に石鯨の切断作業を行わせる。</p>	<p>【使用の方法】 切断機に石鯨をセットし、レバーを両手で引き下げて切断する。また、切断された石鯨は押し出し棒を使用し、受け箱に入れる。</p>
<p>【製作上の工夫】 力があまり入らない児童生徒でも操作がしやすく切断できるように、レバーの長さや石鯨のセットする位置を調節する。 危険防止のために手が入らないようにする。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 ラワン材, さしがね (刃に使用)</p>	

<p>【作品名】 NO.50 メモ帳表紙折り機</p>	<p>【学校名】 茨城大学附属養護学校 (中学部)</p>
<p>【製作の意図】 作業学習</p>	<p>【製作者名】 石川 裕康 (ほか牧山 健一)</p>
<p>【製作の意図】 表紙を折る作業行程において、より正確に折らせ、作業意欲の向上と効率化を図る。</p>	<p>【使用の方法】 表紙用の紙を隙間に差し込む。 折曲げ部を持ち上げるように操作する。 折曲げ部を戻し、紙を取り出す。</p>
<p>【製作上の工夫】 折り曲げ角度を鋭角にするため、基盤部と折り曲げ部の位置関係を配慮する。</p>	<p>【写真】</p> 
<p>【材料・材質・部品等】 合板, ベニヤ, ボール紙, 蝶番</p>	